

令和元年度 事務事業評価シート

事務事業名		初期消火体制の強化					所管	総務部 危機・災害対策課		
事務事業の概要	行政計画	事業NO.	218	計画事業名	初期消火体制の強化			事業の開始・終了年度		
	長期総合計画体系	[基本目標] 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現					[事業開始] 平成13年度			
		[施策] 47 家庭や地域における防災対策の推進					[終了予定] - 年度			
	根拠法令等	要綱	〔法令等名〕			台東区消火器薬剤詰替実施要綱				
	事業対象	直接の対象 : 一般区民 最終的な対象 : 同上								
	事業目的	区で設置している消火器の薬剤の詰め替えや保守点検を定期的に行うとともに、消火資器材の整備を行い、災害時の初期消火体制の強化を図る。								
	事業内容 [H30年度]	<ul style="list-style-type: none"> ・該当消火器の更新(585件)及び薬剤の詰め替えなどの維持管理(197件) ・避難所等に配置した区所有D級可搬ポンプの保守点検委託(年一回) ・重点地域(密集住宅市街地整備促進事業地区及び災害対応活動困難を見込む総合危険度の高い地区)への消火資器材の整備(スタンドパイプセットを根岸地域に配備) ・内閣府による「地震時等に著しく危険な密集地域」に相当する地域への感震ブレーカー設置助成(11件)及び配布(1325件) 								
委託の有無	一部委託	委託内容			消火器薬剤詰め替え、消火器外観点検・清掃、D級可搬ポンプ保守点検等					
補助金の有無	なし									
事務事業の実績	種別	指標の名称	単位	R2年度	H28年度	H29年度	H30年度			
	活動指標	消火器更新本数	本	823	722	664	実績	目標値	達成率	
		薬剤詰め替え本数	本	307	62	68	197	107	184.1%	
	成果指標									
	決算額 (単位:千円)				H28年度		H29年度		H30年度	
	事務事業コスト (単位:千円)	人にかかるコスト(人件費など)			2,498		2,933		3,086	
		物にかかるコスト(物件費・維持補修費)			10,650		11,483		18,032	
		その他のコスト(扶助費・補助費など)			62		197		340	
		総経費			13,210		14,613		21,458	
財源項目 (単位:千円)	受益者負担額(使用料・手数料・負担金など)			0		0		0		
	その他特定財源(国や都の支出金・財産収入など)			0		0		0		
	一般財源(区負担額)			13,210		14,613		21,458		
課題及び今後の進め方	災害時の初期消火体制の更なる充実を図るため、今年度より新たな地域を設定し資器材の投入を実施していく。									
評価の視点	評価	評価の理由								
	必要性	4	火災被害軽減のため、引き続き、重点地域への消火資器材の充実を図る必要がある。							
	効率性	3	街頭消火器の詰替えや交換、D級可搬ポンプ、スタンドパイプなど消火資器材の整備、維持管理を計画的に実施している。							
	手段の適切性	3	災害時に資器材を活用するため、消火器等資器材の地図を配布、周知している。また、消防署等と連携し、消火訓練を重ねて実施している。更に、木造密集地域等の火災の延焼危険性の高い地域に感震ブレーカーの配布等を行い、防火対策に努めている。							
目的達成度	3	各避難所に加え、重点地域への消火資器材配備を行った。また、消火器の有効期限の把握など適正な管理に努めている。								
[総合評価] ※上記4つの視点を踏まえ、事業全体を評価。区民生活への影響を十分考慮すること。						今後の方向性				
災害時の初期消火の強化に向けて、感震ブレーカーの配布等事業では、対象地域を拡大し普及啓発を図った。火災への早期対応、延焼拡大の防止のため、消火器の維持管理及び重点地域への消火資器材整備を引き続き行っていく。また、多くの住民等への操法訓練の実施など、地域における初期消火体制の更なる強化を図る。						維持		拡大改善 維持 縮小 廃止・終了		